



RESOLUTION No. 21) ON PUBLIC SERVICES

第21号決議) 公共サービス

第29回国際公務労連 (PSI) 世界大会
2012年11月27日-30日、南アフリカ・ダーバン

以下に留意する：

PSI加盟組合は、公務員と公共部門労働者の雇用状況および労働条件を擁護、改善することが、われわれの要求の中心でなければならないことを喚起する。

PSIと加盟組合は、ソーシャルダンピングと労働者の搾取に対して、社会正義と基本的権利を推進する戦いをリードしていく。超リベラルな経済政策、反社会的性格、自由市場の教義に異議を唱え、批判する。こうした要素すべてが、公共サービスの民営化を推進し、加速する。

現在の危機は、資本主義体制の危機である。金融界の無責任と、国の規制の怠慢と無視を浮彫りにし、労働者数百万人を失業させ、崩壊させる。

PSIと加盟組合は、労働者に危機の代償を払わせる政府の狙いを非難する。雇用の喪失と破壊的な改革が、公共サービスで勢いを増している。予算を調整するために、公務と賃金、年金、サービスが使われている。

最も深刻な脅威と危険は、公共サービスの基本原則と公務員の権利に対するものである。市民が公共サービスを平等に利用できるかどうか、ならびに公共サービスの公平性が問題になっている。

。

こうした理由のすべてから、PSIと加盟組合は、国を分解し、公共サービスを民間部門に譲渡するこれらの政策を非難する。

危機が原因であろうとなかろうと、PSIと加盟組合は以下に反対する。

- 国際貿易・金融機関の要請で政府が導入し、公共サービスを解体し、社会的後退を招く改悪。
- われわれの要求を、経済的・予算的収束と、公的支出の劇的な減少または公共財政赤字に導く試み。

そのため、公共サービスを破壊するこうした政策に反対し、世界大会は以下を提案する。：

- 公務員および公共部門労働者を圧力団体から守り、任務の遂行にあたって公平性を維持するため、彼らの雇用とキャリア保証を維持・開発する。
- 経済社会的連帯を保護・強化するために、万人が利用できる質の高い非営利の公共サービスを維持・推進する。
- 賃金を改善し、職場の安全衛生状況を高める。
- 不安定労働と戦う。
- 男女平等を推進する。
- あらゆる形態の差別と戦う。
- 若者が持続可能な質の高い公共部門の雇用を利用できるよう推進する。
- 公共サービスに十分な資金調達を保証し、再分配効果のある税制を実施する。

国際労働機関の条約の効果的な適用と、集団の権利の保護は、PSIと加盟組合の優先課題である。

国際公務労連 (PSI) は世界150カ国の2000万人の公共サービス労働者を代表する国際的な労働組合連合組織である。PSIは人権を擁護し、社会正義を提唱し、万人が利用できる質の高い公共サービスを促進しており、国連機関と協力し、労働団体や市民社会団体などの諸団体と提携して活動している。

連帯、国際協力、労働者の動員があれば、われわれはこうした戦いに勝利することができるだろう。

行動プログラムおよび規約を含む大会決議[Congress resolutions](#)を参照のこと